コミュニティ

バスなどの

い要望であったコミュニティバ

東

陳情

8

3件を継続審査としました。 12月定例会では、請願3件を新たに受理し、5件を採択、

出を伴う請願1件については、意見書欄に記載してあります。 に陳情文書表を配付しました。 採択した請願の要旨は次のとおりです。なお、意見書の提 陳情については3件を新たに受理し、全議員及び執行機関

実現を求めることについ コミュニティバスなどの運行の 栄町

ィバスの運行が開始されました。 間の願いであったコミュニテ 平成16年1月から、市民の長 られました。

町地域は、公共交通網からは大 きく取り残された地域です。こ っています。とりわけ小川・栄 ミュニティバス実現の声が上が が取り残され、市内各地からコ 部だけであり、市内に多く存在 する公共交通の空白・不便地域 しかし、この運行が市の中心 とのできる権利、交通権の確立 どこへでも、自由に移動するこ たく、次の事項について請願い たします。 の切実な声にこたえていただき 域を解消してほしいという市民 は行政の責任においてなされる 市民がだれでも、いつでも、 市内の公共交通空白・不便地 きものと、私たちは考えます。

まざまな手段を検討し運行を実 現してください。 くコミュニティバスを初め、さ 小川・栄町地域に1日も早

移動そのものが困難な地域です。 ない方や子どもたちにとっては 持ちの方、運転免許をお持ちで の地域は高齢者の方や障害をお

先ごろ、私たちが実施したア

始に当たっては、事前に路線や 2 この地域へのバスの運行開 請願者 小平市栄町三丁目 るようにしてください。 地域住民の声を最大限取り入れ 加し検討する場を設けるなど、 運行方法などについて住民が参

代表 渡辺 進外1万5千9人 川・栄町コミュニティバスの会

急で、かつ切実な声が多数寄せ

30分ほども歩かなければならな タクシー代が大変、小川駅まで

など、悲鳴ともとれるほど緊

でさえ行きたくても足がない、 年をとってくると身近なところ が弱って病院への通院が不自由、 ンケート調査の結果でも、足腰

平成16年1月18日から第1号 運行を求めることについて バスを利用された市民の感謝の

変喜ばれています。しかし、試 行運行 5年間は長過ぎるのでは の試行運行が始まった循環バス にじバスは、市民の足として大

ないでしょうか。私たちはにじ 要望いたします。 線の拡充が実現されるよう強く く次期コースを検討し早急に路 声を聞くと、5年待つまでもな 公立昭和病院など医療施設、

> 突破し7月までに10万人を超え、 に1日の利用者は、目標65人を くの市民に喜ばれています。既 ス第1号の運行が開始され、多

民の切実な要求となっています。 コミュニティバスの運行は、市

隣の西東京市では運行路線が

生活用品など生活必需品の購入、 日常生活に欠かせない食料品や

健康センターなど、市の中心部 バスの運行を切望します。 ん。この不便さを解消するため 目的地へ行かなければなりませ り継いでさらに下車後は歩いて 上りバス停まで歩き、バスを乗 市役所、福祉会館、中央公民館、 にも、市の東部地域を走るにじ へ行くためには自宅から坂道を

を充実させてください。

まな交通手段を検討し、

昭和病院などの医療施設に行け

るよう、にじバスを初めさまざ

けるよう、にじバス路線の拡大

康センターなど市の中心部へ行

福祉会館、中央公民館、健 小平市の東部地域から市役

事項について請願いたします。 みんなが外出できるよう、次の ろに自由に行ける交通権の保障、 **高齢者も障害者も子ども連れも、** 行きたいとき、行きたいとこ 小平市の東部地域から公立 討し交通網を充実させてくださ を初めさまざまな交通手段を検

スを走らせる会 代表 請願者 小平市天神町一丁目

勇外2千4百65人 小平東部地域にコミュニティバ 水野

走らせることについ コミュニティ 西 バスなど 部 域 を 7

運行の実現は、この地域の市民

余の歳月はまちづくりに貢献し 辺7市の行政区に隣接していま 押し上げました。 倍近い人口を擁し、この間42年 す。市制施行時に比べ今では3 方サ゚メートルの面積を持ち、周 た世代を完全に高齢化社会へと 小平市は、東西南北に約20平 施設へと不便地域に住む市民の 域に、コミュニティバスなどを 走らせて交通不便の現状を改善 切実な念願を実現していただき たく、次の事項について請願い 病院への通院、買い物、公共 交通不便の鷹の台駅西部地

市民は、いわば交通の空白地帯 に置かれています。 五中及び十二小周辺などに住む 、二丁目や、小川町一丁目の 鷹の台駅西部地域の上水新町

> にこたえるよう検討してくださ の増加など、市民の切実な願い

2

試行運転中であっても路線

してください。

で歩けば20分から30分以上かか 厳しい現実に直面しています。 る、タクシーは高過ぎるという 自転車や車に乗れない、駅ま

上村 正人外3千3百45人 ティバスを走らせる会 代表 鷹の台駅西部地域にコミユニ 小平市上水新町一丁目

平成16年1月18日、市民の熱 大沼地域にコミュニティバスなど の運行、小平駅北口にタクシー 乗り場を実現することについて

ふえ、東村山市では2路線目の ユニティバスの充実は、住みよ 研究準備が進んでいます。コミ がなく、商店、スーパーもなく、 いものとなっています。 い便利なまちづくりに欠かせな しかし、大沼地域はバス路線

意

12月定例会では2件の意見書を

関係行政庁等に文書で提出する ものであり、地方自治法第99条 団体の公共の利益に関すること について、議会としての意思を に定められています。 意見としてまとめ、国会または 意見書とは、市など地方公共

全面実現を求める意見書 独立行政法人都市再生機構の 家賃の値上げ見合わせ、居住の 安定を図り、国会決議の

理は独立行政法人都市再生機構 日をもって廃止され、住宅の管 いた公営団地は平成16年6月30 日本住宅公団設立以来50年続

由に移動する権利を保障する交 れるべきと考えます。 通権の確立は、市の責任でなさ めています。私たちが、だれで タクシーしかなく不自由をきわ 公立昭和病院に行く交通手段は、 その都度タクシー利用は経済的 のための手段は不自由をきわめ、 かかりつけ医への通院治療など に不可能です。小平駅北口から いつでも、どこへでも、 緊急の願いとなっています。 民の声を最大限取り入れてくだ 2 運行に当たっては、地域住 側や公立昭和病院に行けるよう 早期に実現してください。 含めたさまざまな手段を検討し だけでなく小平市全域の切実な に、コミュニティバスの運行を について請願いたします。 以上の理由により、次の事項 都営大沼団地から小平駅北

シー乗り場がありません。南口 からの利用はお金も時間も踏切 での待ち時間で大きくかさんで この地域のコミュニティバス その上、小平駅北口にはタク 会 代表 高嶺 芳之外4千百 請願者 小平市大沼町二丁目 場を早期実現してください。 小平に循環バスを走らせる大沼 小平駅北口にタクシー乗り

可決し、関係機関へ送付しました。 (要旨掲載)

住み続けることができるよう士 については、居住者が安心して ▼小平団地(喜平町三丁目) 高齢者等に対する家賃の減免等 配慮に努めること。特に低所得 家賃改定ルールに対する十分な 負担とならないよう家賃制度や たっては居住者にとって過大な



院の国土交通委員会は、「賃貸 るために家賃の見直し作業を行 とし、平成18年4月から実施す 住宅の家賃の設定及び変更に当 構法案を可決した際に、衆参両 近傍同種の市場家賃で、かなり っています。家賃改定の基準は 家賃について3年ごとに見直す へ引き継がれました。 大幅な値上げが心配されます。 平成15年の国会で都市再生機 都市再生機構は継続居住者の

> 合わせるよう求めること。 に際し、継続家賃の値上げを見 4月に予定されている家賃改定

居住の安定を図るための万全の 化と収入低下が著しい居住者の の附帯決議事項を遵守し、高齢 2 都市再生機構が、低所得高 措置を講じるよう求めること。 とるよう求めること。 し、子育て世帯に居住支援策を 齢者等への家賃減免措置を拡充 内閣総理大臣、国土交通大臣 都市再生機構が、衆参両院

国庫負担金引き下げ案の 生活保護、児童扶養手当の 撤回を求める意見書

を一般財源化する見直し案を提 の1に引き下げ、住宅扶助など 庫負担を現行4分の3から2分 生活保護費と児童扶養手当の国 厚生労働省は平成17年11月、

市民の皆様に議会への関心と親新年を迎え、気持ちも新たに

を深めていただけるよう、

て午前9時、場所は市役所7階 総務委員会(※)

3月定例会(一般質問)

3月定例会(一般質問)

3月定例会(一般質問)

予算特別委員会(一般会計) 予算特別委員会(一般会計)

予算特別委員会(一般会計)

予算特別委員会(特別会計)

請願・陳情締め切り(午前中)

(※)視察等のため、傍聴できません。

総務委員会

厚生委員会

建設委員会

日程は変更になる場合もありますので、事前に議会事務局

生活文教委員会

3月定例会(最終日)

2月6日(月) 2月 7日(火) 生活文教委員会 2月 8日(水) 厚生委員会 9日(木) 2月 建設委員会(※) 2月14日(火) 請願・陳情締め切り(午前中)

2月28日(火) 3月1日(水) 3月2日(木) 3月3日(金)

3月10日(金)

3月13日(月)

3月14日(火)

3月15日(水)

3月24日(金)

までお問い合わせください。

しました。今回の提案にはい -く地方関係団体から強い反 活保護制度は憲法第25条に 声が上がっています。 3月6日(月) 3月7日(火) 3月8日(水) 3月9日(木)

分に配慮すること」等を附帯決

議しています

して、次の事項を実現するよう

都市再生機構が、平成18年

よって本市議会は、政府に対

の暮らしをさらに危うくすると [庫負担金の引き下げは国民 ○ 11 月 18 日 ○11月1日 〇 11 月 24 日 鈴木小 十五小 小小

十三小 96 人 66 98 46 人 人 人

《小学校3年生》

対の

障する制度です。 低限度の生活」を国が国民に保 明記された「健康で文化的な最

○1月27日

ともに、地方自治体の財政を圧

0

できません。

よって本市議会は、政府に対 てあり、断じて認めることは 国庫負担金を引き下げない 生活保護費及び児童扶養手 国の責任を後退させるも 総

かりやすい紙面づくりに努め

〈臣、厚生労働大臣あて ... 閣総理大臣、財務大臣、

強く求めます。

きの点がございましたら議会事 てまいります。 ご意見、ご感想など、お気づ

務局にお寄せください。 〒187-871小平市小川町二丁目

·請願等について、活発な議 いの認定を初めさまざまな議 |月定例会では、平成16年度

行われました。

0 4 2 $\begin{pmatrix} 3 & 4 & 6 \\ 4 & 6 \\ 6 & 6 \end{pmatrix}$ 小平市議会事務局 議会報編集委員会 1333番地